



5月16・17日 第9回 皮膚病理講座 基礎編 開催

今回の東京会場は、慶応義塾大学医学部 本館臨床講堂にて、約90名の方に参加いただきました。ご参加ありがとうございます。苦手分野の克服や、知識の整理になったとのご感想や、これから専門医試験を受験される先生方にぜひお勧めしたいとのご意見も寄せられました。専門医試験の過去問を利用した解説もあり、ホームページでの公開資料と併せて復習にも役立てていただけます。



新型インフルエンザの国内感染が確認された影響もあり、受付での問診やマスクの配布なども行われ、物々しい雰囲気となりました。神戸会場にむけても予防対策を準備しております。

第9回  
皮膚病理講座 基礎編



(左) 参加者へ配布したハンドアウト  
 (右) ホームページでは、参加者のみが閲覧できる、ハンドアウトの事前公開行ったり、開催後には当日使用したpower point (一部) なども公開しております。

～参加者専用ページ～  
 2009年 第9回皮膚病理講座基礎編 東京会場

ご参加いただきありがとうございます。  
 公開しました。最新専門医試験 過去問について資料を公開いたします。



第10回は7月に神戸で開催です！

皮膚病理講座 基礎編

「病理用語と各種皮膚疾患の  
病理組織像の解説」

<専門医試験前に知識の整理をしたい方の  
参加に最適です。過去問も解説します>

★まだまだ受付中★

6月19日までのお申込みで、  
参加費10%引きです！

神戸会場

2009年7月19日(日) 10時～17時

7月20日(月祝) 9時～16時

神戸大学 医学部 大講義室

(神戸市中央区楠町7丁目)

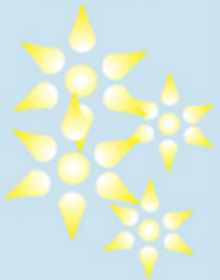
さらに詳しく皮膚病理診断学を学びたい方にはこちら！

第2回 皮膚病理講座 診断編 「皮膚病理診断への第一歩」 (東京)

日時 2009年11月22日(日) 10時～17時 11月23日(月祝) 9時～16時

会場 日本医科大学 第3講堂(教育棟3階) ※会場が変更になりました

- ・各種皮膚疾患の病理組織像を理解する。
- ・皮膚病理診断学の3要素、診断基準項目、診断のてがかり、そして鑑別診断を具体的に把握する。
- ・「絵あわせ診断法」のために必要な病理組織像を覚え、「パターン分類とアルゴリズム分析診断法」を理解する。



セミナーの詳細はホームページで

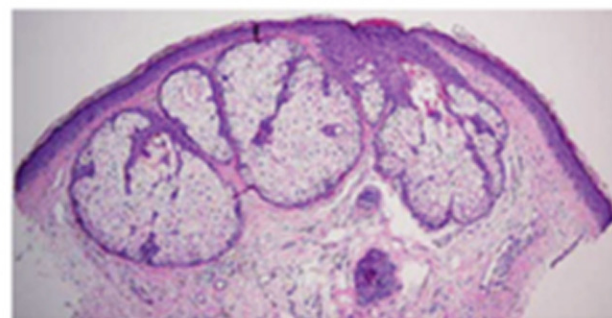
<http://www.sapporo-dermpath.com/seminar/seminar-info2009.html>

お申込みもインターネットからどうぞ



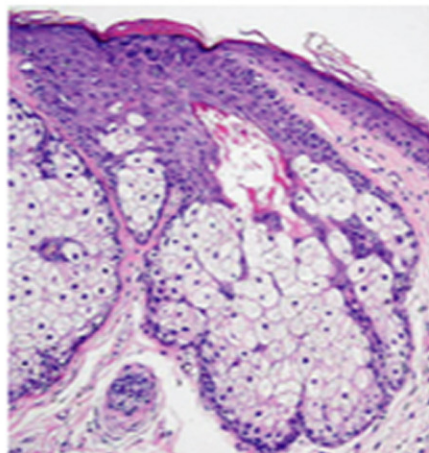
## 今月の症例

30才、女性 生検部位：鼻尖部 臨床診断：皮膚付属器腫瘍  
病理組織診断：Sebacous gland hyperplasia



↑真皮上層には大きな独立脂腺がある。

脂腺は直接表皮に開口している。→



様々な症例をホームページでも紹介しております。皮膚病理倶楽部会員になって、ぜひご活用ください。



詳しくはホームページへ

## 業績の紹介

札幌皮膚病理研究所の症例データから脂腺腫 (Sebaceoma) について検討を行った論文が、The American Journal of Dermatopathologyに掲載されました。Abstractをご紹介します。

### Rippled-Pattern Sebaceoma: A Clinicopathological Study

Ansai, Shin-ichi; Kimura, Tetsunori

We summarized the clinicopathological data of rippled-pattern sebaceoma diagnosed at Sapporo Institute for Dermatopathology and compared it with those of sebaceoma without rippled pattern. Eighty cases of sebaceoma, comprising 37 male and 43 female patients with a mean age at resection of 62.9 +/- 17.0 years, were reviewed. The lesions were located most frequently on the face (45.0%). Twenty-one (26.3%) of 80 cases of sebaceoma exhibited a rippled pattern. Rippled-pattern sebaceoma arose predominantly in males and most frequently on the scalp, whereas sebaceoma without rippled pattern occurred more frequently in females and on the face. Histopathologically, sebaceoma without rippled pattern frequently associated with other neoplastic lesions including sebaceous nevus, seborrheic keratosis, and trichoblastoma on the same lesion; however, there were no associated lesions in rippled-pattern sebaceoma.

Am J Dermatopath. 31(4):364-366, June 2009.

## What's new

5月13日(水)  
研究所近くにある 中華酒菜 氷凌花 (びんりんふおあ) にて  
研修医の先生方の歓迎会を行いました。  
研修医の紹介は次号いたします。



4月からいらした  
苅谷嘉之先生



5月から研修開始の  
木曾雅子先生



週3日愛知県から通って研  
修をしている後藤啓介先生

## 今後の予定

● 2009.6.27-28 講演 第5回関西ダーモスコピー研究会

● 2009.7.10-13 第4回日本・豪州合同皮膚科学会 於：北海道大学学術交流会館  
Topix 講演 <Dermatopathology up date>

1. Poroma, 2. Myopericytoma, 3. Xanthogranuloma, 4. Acquired melanocytic nevus on the sole, and 5. Prurigo multiforme chronica and Papulo-erythroderma(Ofuji)



発行：札幌皮膚病理診断科

〒001-0018 札幌市北区北18条西3丁目2-21 TEL: 011-756-4810 FAX: 011-756-4842

e-mail: office@sapporo-dermpath.com website: http://www.sapporo-dermpath.com 編集担当：高野 敦子